

★受賞おめでとうございます★

心よりお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍をお祈りいたします。

☆令和3年度厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰 蒲池 芳明 先生

☆令和3年度長崎県学校保健会表彰 学校保健永年功労表彰 関 佳子 先生

☆令和3年度長崎県学校保健会表彰 学校保健特別功労表彰 東島 照幸 先生
力武 和裕 先生

～会長便り～

先日の「令和3年度 第1回長崎県薬剤師会研修協議会研修会」大変興味深いものでしたね。日本薬剤師会 磯部専務理事の講演、熱いものを感じました。医療法からしても「薬局は医療機関と並んで、医療提供施設である」。薬剤師法では「薬局薬剤師は調剤応需義務があり、必要な薬は患者に届けなければならない」とあり、「薬を売るのはない、提供だ」という考え方。改めて、「薬局は医療提供施設で唯一、物流と医療サービスを併せ持つ施設」であるとの言葉にハッとさせられました。

「対物から対人へ」と叫ばれますが、磯部専務の言葉を借りれば「地域の物流を基盤にし、薬剤師による医療サービスを主体とする業務」と考えるべきとのこと。「薬剤師は国民・患者のために生きる職業。薬剤師業務は公共サービス。薬剤師・薬局の価値を高めよう」と訴えられました。また、薬局・薬剤師の歴史に造詣が深い専務は「非薬剤師による薬局の開設」についても触れられました。これは戦中の歴史の難しい一面を知ることになりました。

私としては、地域に貢献する薬剤師・薬局のビジョンの実現に向かいながらも、多様性を認め、個性や、個別の努力を尊重する私達でありたいと感じる講演会でした。

～会営薬局運営委員会だより～

最近になって小康状態となっているものの、いまだ収束の見えないコロナ禍にあって、皆さんの職場でも大変な苦労を強いられていることと思います。会営薬局においても、ご多分に洩れず、日々の業務をスタッフ一同で協力しあいながら、運営しているところです。

日本薬剤師会が公表しているデータを確認したところ、長崎県の保険薬局における年度処方枚数の合計が、コロナ禍前の令和元年に比較して、令和2年度では前年比92%の落ち込みを見せています。患者さんの受診控えや、感染対策による長期処方の増加

などが要因として挙げられますが、薬局を運営するにあたって、そのような後ろ向きの考えばかりではいけないので、何とか対策を立てていかなければいけません。

具体策は今後の検討課題ではありますが、やはり私たち薬剤師がやるべきことは、患者様へ寄り添ったケアを実践するしかないのかなと思います。患者様から信頼され、かかりつけ薬局として選んで頂くことが、ひいては薬局の安定した基盤となっていくものと考えます。

この委員会だよりは年に1回のペースで寄稿していますので、次回はコロナ禍が明けて、会員の皆様と一緒に分かち合えるような、明るい話題で紙面を飾ることができればよいと願っております。まだ少しばかり苦労が続きますが、お互いに日々研鑽していきましょう。

～令和3年度 佐世保市在宅医療・介護連携事業

「オンライン診療をはじめよう ～オンライン診療のことはじめ～」開催のお知らせ～

日時：12月13日（月）19：00～ ※無料Webセミナー

内容：①「オンライン診療（遠隔医療）って何？」

（株）NTTデータ経営研究所 アソシエイトパートナー 朝長 大 さん

②「どうすればやれるの？～具体的な事例紹介～」

（株）NTTデータ経営研究所 シニアコンサルタント 塙 由布子 さん

申込期限：12月10日（金）、詳細・申込方法は市薬事務所（TEL：24-3833）迄

佐世保市薬剤師会 会務報告【11月】

4日	地域医療支援病院運営委員会（井手）	オンライン会議
10日	三役会	市薬会議室
15日	佐世保市国民健康保険CKD及びDKD等の対策における意見交換会（河野）	中央保健福祉センター
16日	生涯教育	アルカスささば
17日	常務会	市薬会議室
19日	佐世保市総合医療センター地域連携懇談会（井手、河野）	オンライン懇談会
25日	佐世保市立急病診療所運営委員会（松永）	オンライン会議